

保育センターで過ごす初めての暑い夏、湯遊びで汗を流しながら水に触れたり、室内遊びではいろいろな形の氷が入った袋に触れたりして夏の遊びを楽しみました。初めての湯遊びではドキドキして泣いていた子どもも、保育者と一緒にじょうろの水に触れて少しずつ慣れてきました。今では自分でじょうろの水をすくったり、立ち上がって水を流したりし、顔に水がかかってもニコニコの笑顔で楽しむ姿が見られます。室内遊びでは、スロープトイでボールの動きを見て楽しむことや、ハイハイや歩行で好きな場所に移動し、指先を使ってブロックをはめて拍手して喜ぶ姿が見られます。周りの友だちも一緒に拍手をして楽しい雰囲気になることもあります。時には友だちが持つおもちゃが気になって手を伸ばし、取り合いになることもあります。関わりの中で嬉しさや喜び、時には思い通りにならなくて怒ったり泣いたりすることもあります。一人ひとりの様々な思いを大切に、丁寧に関わり、成長を見守っていきたいと思います。

今月も残暑が厳しいことが予想されますが、暑い日には湯遊びも楽しみ、過ごしやすい日は散歩を楽しみながら虫を見つけたり、落ち葉に触って秋の自然を感じたりして、保育者とゆったり関わりながら発見を楽しみたいと思います。



マットにまたがり
体を揺らす A ちゃん。
保育者が「バスに乗って揺られてる
ゴーゴー！」と歌うと、A ちゃんは
ニコッと笑い、歌に合わせて手を挙げて
楽しんでいました。それを見てお友だちも
マットにまたがり、満員のバスになりました。
一緒にリズムに乗って楽しいな！という
嬉しい気持ちがあふれる空間に
ほっこりしました。

今年の夏も暑い日が続いていますが、子どもたちは水に触れたり、プールの中に入り全身で水の気持ち良さを感じたりと湯遊びを楽しみ、元気に過ごしました。初めは緊張して泣いていた子どもも、少しずつ保育者と一緒にじょうろの水を触ったり、プールの中に座ったりして笑顔が見られるようになりました。また、寒天遊びをして、普段あまり経験することのない感触を楽しみました。手で掴み、足で踏み、存分に感触を楽しむ子ども、カップやボウルに色とりどりの寒天を入れ、ゼリーに見立てたりかき混ぜたりする子どもなど、一人ひとりが思い思いに楽しむ姿が印象的でした。

今月は画用紙にパス画を楽しみたいと思います。一緒に楽しみながら、子どもたちがどんな色で、どんな風に描いていくのか、一人ひとりの表現を大切に見守りたいと思います。園庭では、巧技台に登ってマットへジャンプしたり、コンピカーに乗って遊んだり、のびのびと全身を動かす遊びも楽しむ予定です。また大学の森へ散歩に行く中で、少しずつ色づく木々を見たり、秋の虫や木の実を探したりして、近付いてくる秋の自然を感じられるようにしたいと思っています。日々を大切に過ごす中で、神さまの愛に守られながら、友だちや保育者との関わりを深めていきたいと思います。



ひよこ組保育室に、
子どもたちが大好きな“棚の下
スペース”があります。その小さな
スペースで、ぎゅっと体を寄せ合って座り…
1人の子どもが棚の陰から「ばあ！」と
顔を出すたびに「きゃーっ!!」と歓声と
笑顔が溢れ、何とも微笑ましい遊びが
繰り広げられていました。

厳しい暑さが続いた夏でしたが、子どもたちは毎日水に触れる遊びを楽しみ、元気いっぱい過ごしました。プール遊びでは、顔に水がかかることが苦手だった子どもも次第に慣れて友だちと遊びを楽しむ姿が見られるようになったり、体全体で水の気持ちよさを感じながらゆったりと過ごしたりする姿が見られました。また、色水遊びでは始めは単色のまま容器に注いだり、ただ色を混ぜ合わせることに夢中だったりしましたが、遊びを繰り返すうちに少しずつ色の変化に気付き、好きな色を作ったり友だちと関わりながらジュース屋さんごっこを楽しんだりする姿が見られるようになりました。これからも日々の遊びの中で様々な経験を楽しみ、発見や驚きを共感しながら過ごしていきたいと思います。

今月は戸外遊びや散歩を再開します。まだ暑い日が続きますが体調の変化に気を付けながら、友だちと手を繋いで歩いたり虫や草花などの自然に触れたりして秋の訪れを感じたいと思っています。

また、生長を大切に育ててきた夏野菜のオクラとミニトマトは神さまの恵みに感謝し、給食でおいしくいただきました。オクラは制作でも使用し、これから野菜スタンプを楽しみたいと計画しています。思い思いに表現することや絵の具の感触、オクラスタンプの模様や形を子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思います。



昼食のメニューを
伝えていた時のことです。
保育者「今日のお魚はホッケです！」
Aくん「え？だれのホッペ〜？」
かわいい表現と不思議そうに笑うAくん
に思わずくすりと笑ってしまいました。
これからも、子どもたちとの会話を通して
やりとりを楽しみ、表現しようとする
姿を大切にしながら楽しい時間を
共有していきたいと思います。